

一人は仲間のために！仲間は未来のために

地域の安心・安全を守る
河川の治水事業・計画は私のやりがい



手島 優希さん
所属：九州地方整備局
河川部
河川計画課 計画第一係員
入省4年目

休日は出かけることが多く、習い事に通うなど、アクティブな週末を過ごしている。

●どんな仕事をしていますか？

九州地方整備局が管理する一級河川の計画や予算の仕事を担当しています。災害が多い九州で、河川の治水事業の計画全てに携わり、地域の安心・安全な暮らしを守ることができ、すごくやりがいを感じています。

●「九WE会」について

土木、建築、機械、電気など多くの職種の方が活躍していることに驚きました。会合を重ねるごとに、顔見知りの方が増え、お互いに相談もできるようになり、職員同士の交流にも繋がっていると思います。さまざまなテーマでディスカッションし得られた成果を、他機関も含め、これから九州全体に向け発信していきたいです。

●これからやってみたいことは？

今担当している「地域の暮らしを守る河川」の仕事は、私がずっと携わりたいと思っていた仕事そのものです。これからも計画・工事・管理など色々なことに挑戦したいです。職場については、職員同士が協力し合い、男性も女性も活躍できる環境になってほしいと思いますし、その働きかけをしたいと思っています。

九WE会で得た刺激が私の責任とモチベーションを向上させてくれた



安武 環さん
所属：九州地方整備局
川内川河川事務所
川内出張所管理第二係長
技術士補・防災士・
プロジェクトWETファシリテータ
入省10年目

休日は、これまで配属された地域を巡るバイクの旅に出かけている。読書や映画鑑賞も欠かさない。

●どんな仕事をしていますか？

入省してこれまでに5つの職場を経験し、河川の管理、計画、調整業務に携わりました。現在は、主に工事の現場監督として現場調整や施工状況の確認、維持管理を担当しています。地域の方と接する機会が多く、責任感を実感でき、とてもやりがいがあります。

●「九WE会」について

入省当初は学ぶ事の方が多かったような気がしますが、九WE会が発足して10年以上経った今では、先輩職員としてしっかりしなくてはと、モチベーションアップにも繋がっています。九州各地に知り合いができ、相談をし合えるような仲間がいることが心強いです。

●これからやってみたいことは？

現在は工事監督が中心ですので、これからは事業の企画設計等、地域の方と協働で何かを成し遂げるような仕事に携わりたいです。資格取得にもチャレンジし、自分自身も力を付け、建設業の魅力を学生など若い方にもお伝えしていきたいです。なにより、ずっと笑顔で働き続けていきたいと思っています。

女性も男性も含め
組織全体で元気になってほしい



神薙 宏美さん
所属：九州地方整備局
熊本河川国道事務所
交通対策課 交通対策係長
技術士(建設部門)・
一級土木施工管理技士
入省19年目

平日は自宅で朝ヨガ、休日はスタジオに通うなど、「ヨガ」でリフレッシュ中。

●どんな仕事をしていますか？

入省してこれまでに九州内の7つの職場で、河川調査や道路の工事発注、工事監督、砂防ダムの計画などを経験しました。今は、道路の交通安全対策、交差点の改良、歩道整備などを担当しており、1件でも事故が減るように調査、分析、計画、施工、検証の一連の業務に取り組んでいます。

●「九WE会」について

「九WE会」に参加して、女性技術者同士の「共感」や「安心感」そして「意見を伝えることの大切さ」を実感しました。以前は、男性が多い職場だったので、意見することに躊躇していましたが、九WE会をきっかけに自分の意見を言うようになり、今まで以上に積極的になることができました。これからは女性だけでなく、男性も含めて組織全体が元気になって欲しいです。

●これからやってみたいことは？

土木に興味をもったきっかけは「橋」です。100年先も残っていく仕事に携わりたいと思入省しました。これまで多種多様な業務に携わり、さらに、子育てや学校のPTAなども経験したことで広がった視野を活かしつつ、一つの課題に対して、いろいろな方向から考えられる技術者になりたいと思っています。

人と人の心が通い合う、心に刻まれる仕事
その達成感を若い世代にも体験してほしい



原田 佐良子さん
(九州女性技術者「九WE会」会長)
所属：九州地方整備局
企画部
企画課 建設専門官
入省28年目

休日には「ホットヨガ」で心と体のリフレッシュ。体が締まって効果てきめんだとか。

●これまでを振り返って

土木職女性技術者第1号として入省し、これまで男女の差なく仕事をさせていただきました。現在のような両立支援制度がまだ整っていない世代でしたが、「仕事も子育てもしたい」という欲張りな思いを見守っていただいた上司や周囲の方々、九州地方整備局の懐の深さには感謝するばかりで、もちろん理解して応援してくれる家族にも感謝する毎日です。

●心に残っている仕事とは

28年のキャリアの中で記憶として残る仕事は、事務所係長時代の頃です。工事着手まで短期間の中、熱意ある地域の方と川づくりプランを議論し、無事に河川整備を完成させることができました。完成した整備箇所地域の方が完成記念イベントを開催し、それをきっかけに新たな祭りが始まり、自分が携わっている仕事の意味と無限の可能性に気付かされました。

●「九WE会」のこれから

女性技術者として生活者視点の仕事に活かすことで、キメ細やかな行政サービスができると思いますし、それが強みになると感じています。「九WE会」メンバーが、官民交流の「場」やネットワークを通じ、個々の技術力を上げていくとともに、安心安全で活力ある九州に向けて、少しでもお役に立てればと思います。

輝いて九州を育む
女性技術者



Kyushu Woman
Engineer

国土交通省 九州地方整備局 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7(福岡第二合同庁舎)
Tel: 092-471-6331



ホームページアドレス <https://www.qsr.mlit.go.jp/>

九州地方整備局
Facebook

右のQRコードを
読み込んでください。



九州地方整備局
Twitter

右のQRコードを
読み込んでください。



採用情報



YouTube

検索フォームに
「九州地方整備局」と
入力し検索してください。
または右のQRコードを
読み込んでください。



私たちの今と未来が ここにある!



土木の魅力を発信!



この仕事のやりがいを伝えたい!

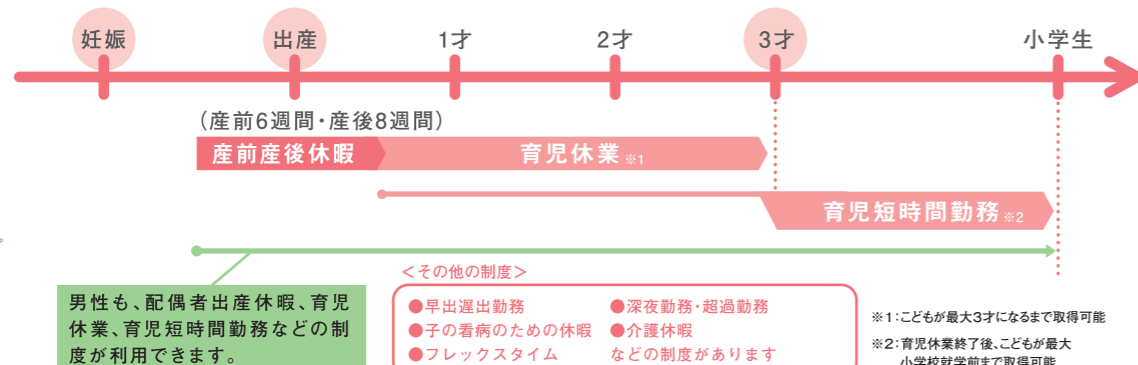


技術者を目指す学生などを対象に、業務説明会や職場訪問会を各地で開催。建設業の魅力ややりがいなどを広く発信し、一緒に輝いて九州を育む女性技術者が増えることを願っています。



仕事も家庭も自分も大事!ワーク・ライフ・バランスを実現できる

〈両立支援制度の利用例〉



技術系女性職員の
育児休暇後の復帰割合
6.8% 93.2%



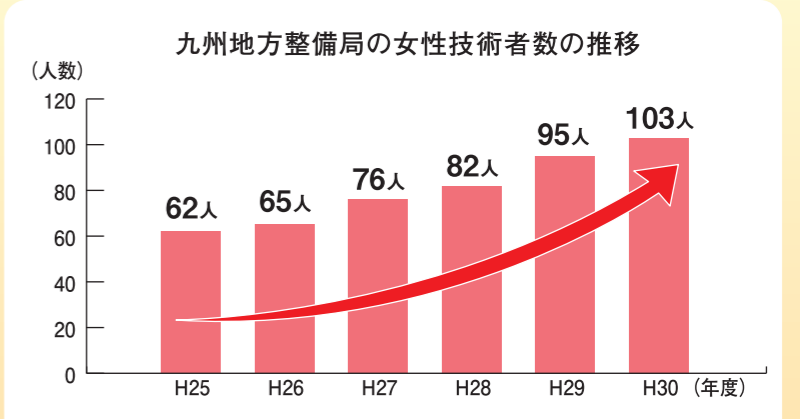
育児休暇後の
復帰は93.2%に!

技術職員における
女性の割合
94.5% 5.5%



女性技術者の
割合はこの3年で
2倍に!

女性技術者は年々増加しています!



働きやすく活躍できる職場に!



他の機関と連携したネットワークを!



国や自治体、民間企業などの女性技術者が現場見学や意見交換などの活動を各県で実施。組織の枠を超えてネットワークが広がることで一人一人の笑顔を増やし、建設業界全体が輝けるような未来を目指しています。